

## イベントレポ②

### やってみよう!しいたけづくり

2月25日(土)雨の中、恒例の公開イベント「椎茸づくり」を開催した。午前10時すぎから受付をしたが、雨のため子供7名、大人4名という寂しい開催となった。

初めに阿部会長から「東北大震災のときに電気がない中でも《ノコギリ》で木を伐って燃やして暖を取ることができた。」という話、古川幹事からは「山に入ったら常に足元をしっかり見て、怪我のないように!」と注意、森幹事からは紙芝居形式で「椎茸づくり」の工程説明があった。

天気なら、遊びの広場の西斜面で、椎茸菌打ち作業をするのだが、雨のためベースキャンプに張ったテントの中で、椎茸菌打ちを行った。



一通り菌打ちが終わった後、子供たちのお土産用に50cm程度のコナラの

原木を鋸で半分に切る作業に、鋸が初めての子供もいて相当の時間を要した。その後、初めて手にする電気ドリルでの穴開け作業を子供たちは楽しんでいった。



学びの森の東側シイタケ栽培地へ雨の中を「しいたけ」が採取できることを願いつつ出発。

現地では森幹事からの椎茸の採取方法の説明を受

け、子供たちは大きい順に約50~60個収穫していた。



お昼は美味しい豚汁でお弁当を食べてから、午後からのブランコとロープ渡りの準備に出発した。

途中、私の携帯に電話があり、私はホットした。その訳は前日の参加申込みで午後から参加予定のご家庭からの電話で「主人も参加してもよいか。午後1時前には到着する。」とのこと、この親子4人の参加によって、奈良県森林林業体験学習事業の補助対象となる、15人を辛うじて達成でき、私は胸を撫で下ろすと同時に、すぐベースキャンプに戻った。



終了後の反省会で、参加人員の少ない理由として開催時期、募集方法、学校行事との関連やインフルエンザの流行などが考えられ、「椎茸菌打ち」の時期について見直すこととなった。

追記、参加者の和香さん(小2)と颯人君(小3)、ほのかさん(小4)の3人から、礼状が届きました。  
(永淵元弘記)

